

令和5年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	470	子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた教育を行う
施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる
施策の目標	区立学校が、子どもたちにとって安全・安心で、いきいきと学ぶことができる集団生活の場であるとともに、地域住民にとってもさまざまな交流の拠点となっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「区立小中学校が地域と十分に連携している」と評価する区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					50.0%					55.0%
実績	44.4%	-	-	-	55.0%					
指標名	授業中にICT（情報通信技術）を活用して指導することができる教員の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					90.0%	90.0%	90.0%			95.0%
実績	88.3%	82.9%	82.3%	84.5%	80.3%	86.7%	90.4%			

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
<p>・国のGIGAスクール構想の推進等により、教員及び児童・生徒一人1台体制が構築されたため、研修や支援員の派遣など、タブレット端末の活用に重点を置いた事業展開を図っている。令和4年度の指標についても向上がみられることから、活用の推進について一定の施策効果が出ていると考える。</p> <p>・学校運営連絡協議会を通じて、学校と地域の連携・協働を進めていく必要がある。</p> <p>・学校施設の維持管理を適正に実施していくとともに、校舎等改修や公共施設(建物)長期修繕計画による改修などを計画的に実施していく。また、児童生徒数増や教育課題の必要性に沿った教室の整備も行っていく。</p>	R2	2,887,369
	R3	2,631,779
	R4	3,380,626

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	学校と地域との協働活動やICT教育活動の工夫・改善、施設の維持補修などについて、より効果的に実施していく必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
<p>・学校施設については、安全確保と教育環境確保が重要であり、長寿命化を視野に入れつつも、改修費用等の資源投入が必要である。</p> <p>・ICTについては、活用に重点を置いた施策を引き続き展開していく。新型コロナウイルスの感染状況等、学校を取り巻く環境に注視しながら、オンライン学習など機動的なシステムの拡充や運用を心がけていく。</p>	
【今後の具体的な方針】	
公共施設マネジメントの趣旨に基づき、学校の改修計画を整備していく必要がある。また、ICT環境を最大限に活かすため、活用方法の高度化について部内各課の相互連携のもと施策を展開していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	小学校改築等事業費	862,788	6,543	869,331	4	現状維持
					4	令和4年度
2	学校管理費(運営費標準) (小・中・夜間)	527,286	13,109	540,395	13,804	現状維持
					14,302	令和4年度
3	児童の交通安全教育事業	10,866	885	11,751	0	現状維持
					0	令和4年度
4	区立幼小中学校防災訓練 事業	0	818	818	14,122	現状維持
					14,252	令和4年度
5	教職員等健康管理事業	7,751	1,636	9,387	463	現状維持
					441	令和4年度
6	特別支援教室増設等経費 (小・中)	15,755	1,636	17,391	800	現状維持
					990	令和4年度
7	幼稚園管理運営費	20,023	4,089	24,112	390	現状維持
					195	令和4年度
8	要保護及準要保護児童生 徒就学援助	281,664	16,358	298,022	26	現状維持
					18	令和4年度
9	帰宅困難者対策事業	13,971	2,454	16,425	100	現状維持
					100	令和4年度
10	通学路防犯設備整備事業	6,569	1,636	8,205	121	現状維持
					124	令和4年度
11	学校管理業務委託事業	505,540	2,454	507,994	78	現状維持
					83	令和4年度
12	幼稚園事業費	5,999	4,089	10,088	390	現状維持
					195	令和4年度
13	幼稚園保健衛生費	14,673	3,272	17,945	390	現状維持
					195	令和4年度
14	学校ICT化推進事業	1,032,031	18,016	1,050,047	90	改善・見直しのうえ継続
					90.4	令和4年度

15	学校運営連絡協議会	171	1,636	1,807	3.5	改善・見直しのうえ継続
					3.7	令和4年度
16	緊急情報発信メール配信事業	8,062	1,636	9,698	100	統合や縮小を検討
					100	令和4年度
17	教育関係広報発行	729	818	1,547	66,800	現状維持
					66,800	令和4年度
18	防犯ブザーの配布	946	818	1,764	100	現状維持
					100	令和4年度
19	理科教育等設備整備費事業(小・中)	2,297	2,454	4,751	100	現状維持
					97.7	令和4年度
20	小学校社会科見学等の交通費一部補助	14,597	1,636	16,233	6,674	現状維持
					6,636	令和4年度
21	卒業記念アルバム作成補助事業(小・中)	19,983	818	20,801	3,130	現状維持
					3,169	令和4年度
22	(公財)墨田育英会補助事業	1,700	4,907	6,607	10	現状維持
					18	令和4年度
23	プラネタリウム・郷土文化資料館・北斎美術館見学(小)	0	0	0	25	現状維持
					0	令和4年度
24	小学校連合行事参加の交通費補助・学校行事に伴う交通費補助	695	818	1,513	2,589	現状維持
					1,752	令和4年度
25	小・中学校連合行事費補助事業費	3,067	818	3,885	9	現状維持
					5	令和4年度
26	部活動大会参加者交通費等補助事業費	2,817	1,636	4,453	800	現状維持
					686	令和4年度
27	小・中学校創立周年記念誌の発行経費	4,430	2,454	6,884	100	現状維持
					81.8	令和4年度
28	被服貸与事業(幼小中)	793	818	1,611	177	現状維持
					216	令和4年度
29	学校運営交付金(小・中)	15,423	2,454	17,877	13,804	現状維持
					14,302	令和4年度

令和5年度 事務事業評価シート

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる	部内優先順位
事業名	小学校改築等事業費		1
目的	小学校の35人学級編成及び地域の人口変動による児童数の増加、既存校舎の老朽化に対応するため、改築等の施設整備を図る。		主管課・係(担当)
			庶務課施設係
			03-5608-6313
対象者	児童、教員、地域住民等		
根拠法令 関連計画	学校教育法、都市計画法、建築基準法		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託
		人員体制・委託先	常勤4、委託先: AIS総合設計(株)外
事業内容	1 曳舟小学校プール棟増築工事 2 二葉小学校屋内運動場棟改築工事		
経過	開始年度	平成30年度	終了予定
			令和7年度
	1 曳舟小学校プール棟増築工事(平成30年度～令和4年度) 平成30年度: 現況測量、地歴調査 令和元年度: プール棟解体工事設計、施設整備計画策定 令和2年度: プール棟改築等基本設計、地盤調査、解体等工事 令和3年度: プール棟改築工事、校庭整備設計、給食室改修工事 令和4年度: プール棟改築工事、校庭整備工事、既設校舎内部改修工事 2 二葉小学校屋内運動場棟改築工事(令和4年度～令和7年度) 令和4年度: 屋内運動場解体設計、基本設計		
議会質問 の状況			
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 今後のスケジュール(二葉小学校屋内運動場棟改築工事) 令和5年度: 解体工事、実施設計、埋蔵文化財発掘調査 令和6年度: 既存校舎改修工事、増築工事、埋蔵文化財発掘調査 令和7年度: 既存校舎改修工事、増築工事		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		2,742	11,885	126,251	422,163	880,035	271,471
A.決算額(令和5年度は見込み)		2,484	4,355	110,618	421,137	862,788	271,471
財源	国	0	0	0	31,938	79,558	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	70,000
一般財源		2,484	4,355	110,618	389,199	783,230	201,471
執行率(%)		90.6%	36.6%	87.6%	99.8%	98.0%	100.0%
B.人コスト		7,875	6,990	7,058	7,073	6,543	/
総事業決算額(A+B)		10,359	11,345	117,676	428,210	869,331	/
予算書P(令和5年度)	P245	執行実績報告書P(令和4年度)			P179 17(9)、P183		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	一般需用費等	65	旅費	管外旅費	63	委託料	建設委託料等	131,471
委託料	建設委託料等	13,566	需用費	一般需用費等	81	工事請負費	工事費	140,000
使用料及び賃借料	施設借上等	11,172	役務費	清掃委託	240			
工事請負費	工事費	396,334	委託料	建設委託料等	65,722			
			使用料及び賃借料	施設借上等	8,115			
			工事請負費	工事費	788,567			

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	学校改築事業に伴う改築棟数				単位	棟
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標		0.5	1	1	1.5	2
	実績		0.5	1				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	学校施設長寿命化計画に基づき学校改築事業の棟数を活動指数とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	普通教室数の整備数				単位	室
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
8		7	目標					
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標			1	4	4	4	8	
実績		1	4					
指標の選定理由及び目標値の理由								
人口増に伴う児童数の増加が予測されていることから、普通教室の不足を解消していく必要があるため、教室の整備数を成果指数とする。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	学校施設長寿命化計画に基づき、適正な施設の長寿命化及び改築事業を進めていくため、墨田区学校改築基本方針を検討していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・築年数が40年以上の学校が多く、今後の改築時期が集中化する。 ・改築等工事に伴う学校運営への影響が見込まれる。

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	学校管理費(運営費標準)(小・中・夜間)				2
目的	学校運営に欠かすことのできない経費を計上することにより、学校運営に必要な教育の機会均等及びその水準の維持向上が見込まれ、特色のある学校環境づくりを推進する。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区立小・中学校				
根拠法令 関連計画	教育基本法、学校教育法				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	学校運営上必要な経常経費を計上し、教育の機会均等とその水準の維持向上に資することを目的とする。				
経過	開始年度				終了予定
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		573,464	579,975	612,420	576,245	561,763	569,648
A.決算額(令和5年度は見込み)		515,789	541,229	557,544	526,299	527,286	569,648
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		515,789	541,229	557,544	526,299	527,286	569,648
執行率(%)		89.9%	93.3%	91.0%	91.3%	93.9%	100.0%
B.人コスト		15,750	13,981	14,144	14,073	13,109	
総事業決算額(A+B)		531,539	555,210	571,688	540,372	540,395	
予算書P(令和5年度)	小P238 No.4、中P246 No.4 No.6	執行実績報告書P(令和4年度)			小P176 No.4、中P184 No.4 No.6		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	一般需用費等	322,174	需用費	一般需用費等	304,020	需用費	一般需用費等	326,500
物品購入費	備品購入費	86,250	物品購入費	備品購入費	104,891	物品購入費	備品購入費	109,943
役務費	通信運搬料	36,514	役務費	通信運搬料	36,633	役務費	通信運搬料	40,869

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区立小・中学校数				単位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		35	R7	目標	35	35	35	35
				実績	35	35	35	35
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	35	35	35	35	35	35
		実績	35	35	35			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	対象となる区立小中学校の数を指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	児童・生徒数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		13,804	R7	目標	13,804	13,804	13,804	13,804
				実績	13,804	13,878	13,905	13,996
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	13,804	13,804	13,804	13,804	13,804	13,804
	実績	14,180	14,259	14,302				
指標の選定理由及び目標値の理由								
予算配当の基準とするため、基準年の5月1日現在の区立小中学校の児童・生徒数を指標及び目標値としたが、毎年児童・生徒数は変動する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区立学校の設置運営者として、学校運営上必要な経費を計上することにより、教育の機会均等及びその水準の維持向上を実現している。より一層の学校教育の水準維持と質の向上に向けて予算の充実を図り、計画的・効率的な執行に努めていく。

課題・問題点

補助金名	英語検定受験料補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令			学務課・事務担当			
補助概要	墨田区立中学校在籍で就学援助において認定を受けている世帯に属している生徒の保護者に対し、英語技能検定受験料を補助することにより、受験及び資格取得を促進する。		03-5608-6303			
目的	中学生の英語能力の現状把握や入試制度改革等への対応を踏まえ、英語技能検定受験料の補助を行うことで、受験及び資格取得を促進する。					
対象	墨田区立中学校在籍で、就学援助において認定を受けている世帯に属している生徒の保護者					
基準	区独自基準					
補助条件	全ての受験級を対象として、受験料相当額を年度内1回補助する。 複数回受験した生徒については、最も高い受験料を補助する。					
経過	開始年度	令和元年度	終了予定			
議会質問の状況						
その他特記事項						

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）			1,700	2,720	1,700	1,615	1,615
決算額（令和5年度は見込み）			960	838	1,009	952	1,615
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源			960	838	1,009	952	1,615
執行率（％）			56.5%	30.8%	59.4%	58.9%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	対象中学校数				単 位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		10	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	10	10	10			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	対象中学校数を指標及び目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	対象生徒数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		500	R7	目標				500
				実績				280
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		500	500	500	500	500	500	
実績		252	229	226				
指標の選定理由及び目標値の理由								
対象者数を指標及び目標値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	経済的な理由により英語技能検定受験料の支払いが困難な保護者に対し、受験料を補助することは、受験及び資格取得を促進するためには適当である。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	児童の交通安全教育事業				3
目的	児童・生徒に対し、生活全般における交通事故や防犯に対する自己防衛を身につけさせる。具体的には、危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を身につけさせる。				主管課・係（担当）
					庶務課 企画・法規担当
					03-5608-1258
対象者	児童、生徒、その保護者				
根拠法令 関連計画	学校保健安全法第27条・学習指導要領等				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	3
事業内容	児童等の交通安全意識の向上を図り、学校における交通安全教育を充実させるため、3名の指導員を配置し、区立小学校、中学校、幼稚園において、交通安全教室を実施。また、区内巡回をし、通学路等の安全点検を行う。				
経過	開始年度	平成10年度		終了予定	
	学童擁護制度の見直し(平成8年7月検討会設置、平成9年12月報告)の結果、学童擁護制度に代わる児童の安全確保策として、平成10年から実施。平成10年度は、2名の学校指導員を配置した。令和4年5月現在、交通安全指導員3名を配置している。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		9,822	9,822	11,234	10,921	10,901	11,367
A.決算額（令和5年度は見込み）		9,635	9,607	11,042	10,794	10,866	11,367
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		9,635	9,607	11,042	10,794	10,866	11,367
執行率（％）		98.1%	97.8%	98.3%	98.8%	99.7%	100.0%
B.人コスト		888	874	968	880	885	
総事業決算額（A+B）		10,523	10,481	12,010	11,674	11,751	
予算書P（令和5年度）	241	執行実績報告書P（令和4年度）			P179 18		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	交通安全指導員	8,757	報酬	交通安全指導員	8,832	報酬	交通安全指導員	8,850
職員手当等	交通安全指導員	1,751	職員手当等	交通安全指導員	1,766	職員手当等	交通安全指導員	1,770
旅費	交通安全指導員	0	旅費	交通安全指導員	0	旅費	交通安全指導員	6
需用費	消耗品費等	66	需用費	消耗品費等	48	需用費	消耗品費等	466
委託料	交通安全教室 実演委託	220	委託料	交通安全教室 実演委託	220	委託料	交通安全教室 実演委託	275

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	幼小中学校訪問指導回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		350	R7	目標	340	350	350	350
				実績	363	398	468	420
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	350	350	350	350	350	350
	実績	253	456	452				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	安全教室を実施する回数が、児童生徒へ周知できたかどうかの判断基準となるため。 (目標 幼稚園各園1回、小学校全クラス1回、中学校各校1回)							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	区内児童・生徒の交通事故死者数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
0		R7	目標	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		0	0	0	0	0	0	
実績	0	0						
指標の選定理由及び目標値の理由								
安全指導の結果、区内での児童生徒の事故件数を減少させることが、本事業の目標であるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	交通安全教室の幼少中学校訪問指導回数は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策により一時的に授業時数が減少したため、目標を下回った。しかし、令和3年度以降は、感染対策をしつつ例年並みの回数に戻した。交通安全教育の重要度は高いため、引き続き、当該事業を推進する。

課題・問題点
交通安全教室の実施内容の見直しや、交通安全に関する啓発のための資料配布などにより、継続的に児童等の交通安全に関する意識の向上を図っていく必要がある。 また、児童・生徒に対する下校指導等を引き続き行い、交通事故防止を図っていく必要がある。

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	区立幼小中学校防災訓練事業				4
目的	各幼稚園・小中学校において、全校作成している学校防災計画に基づき防災訓練を実施することにより、災害時に迅速に園児・児童・生徒の安全確保が実施できるように安全対策の強化及び防災意識の高揚を図る。				主管課・係(担当)
					庶務課庶務・教職員担当 03-5608-6302
対象者	園児、児童、生徒				
根拠法令 関連計画	区及び区立学校総合防災訓練実施要項				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	各幼・小・中学校において、独自の防災訓練を計画し、家庭・地域・学校の実態に合わせた訓練内容を実施する。また訓練に先立ち、各学校・園の教職員による防災組織を確立しておく。				
経過	開始年度	昭和55年度		終了予定	
	(令和4年度の実績) 1 実施日時 (幼・小・中) 令和4年9月1日(水) (この日以外は、各学校で設定する日程で実施) 2 実施場所 各区立幼稚園、小・中学校 3 主な訓練実施内容(幼稚園・学校独自) (1)避難誘導訓練 (2)初期消火訓練(消火器・消火栓の使用) (3)負傷者の救護・応急手当訓練 (4)救助袋を使った訓練 (5)プール水の、ろ過実演(ろ過装置の使用) (6)映画、ビデオ、紙芝居等の使用 (7)訓話による防災についての学習 (8)通学路確認訓練 (9)残留児童・生徒の指導・訓練 (10)震度・煙体験訓練 (11)地域情報収集伝達訓練 (12)引取り訓練 (13)災害用伝言ダイヤル171を活用した訓練				
議会質問 の状況	[平成30年3定] 防災意識の向上について				
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 防災課等と協力して防災意識を高めていく手段、方法を検討・研究する必要がある。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		29	29	29	30	30	30
A.決算額(令和5年度は見込み)		28	28	29	30	0	30
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		28	28	29	30	0	30
執行率(%)		96.6%	96.6%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		28	28	29	30	0	
予算書P(令和5年度)	P232	執行実績報告書P(令和4年度)			P171		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる				部内優先順位
事業名	教職員等健康管理事業					5
目的	学校職員の健康管理を行うことにより、職場環境の向上及び公務能率の向上を図る。					主管課・係(担当)
						庶務課庶務・教職員担当
						03-5608-6302
対象者	小・学校、幼稚園に勤務する職員					
根拠法令 関連計画	労働安全衛生法 墨田区職員健康管理規則					
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	東京都予防医学協会	
事業内容	婦人科検診(調査、外科専門医による診察、婦人科専門医による診察、細胞診等)					
経過	開始年度				終了予定	
	老人保健法改正等により昭和58年 対策型がん検診開始 平成12年～16年マンモグラフィー検査段階的に導入 墨田区においても、これに準じ検診実施。					
議会質問 の状況						
その他 特記事項	(年間スケジュール) 6月希望調査票配布 7月～8月一次健診実施 9月～結果送付					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		6,800	7,845	9,148	8,712	8,623	8,158
A.決算額(令和5年度は見込み)		5,535	7,930	7,196	7,945	7,751	8,158
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		5,535	7,930	7,196	7,945	7,751	8,158
執行率(%)		81.4%	101.1%	78.7%	91.2%	89.9%	100.0%
B.人コスト			1,748	1,764	1,759	1,636	
総事業決算額(A+B)		5,535	9,678	8,960	9,704	7,753	
予算書P(令和5年度)	P231	執行実績報告書P(令和4年度)			P172		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	特別支援教室増設等経費(小・中)				6
目的	特別な支援を要する児童生徒の適正な教育機会を確保するため、特別支援学級(固定学級、特別支援教室、通級学級)の整備等を行う。				主管課・係(担当)
					学務課給食保健・就学相談担当 03-5608-6304
対象者	特別な教育支援を要する児童生徒				
根拠法令 関連計画	学校教育法、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、発達障害者支援法、東京都特別支援教育推進計画、墨田区特別支援教育推進計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	2
事業内容	特別な支援を要する児童生徒について、適正な教育環境を確保し、増加傾向にある対象児童生徒数に対応するため、必要に応じて、特別支援学級の開設等(増設)を行う。また、区の特別支援教育推進計画に基づき、必要に応じて知的固定学級の増設等検討する。				
経過	開始年度	平成21年度		終了予定	未定
	平成22年度に外手小学校の改修工事を行い、以降必要に応じ、また特別支援教育推進計画に沿って特別支援学級(知的固定学級)の開設や教室の改修等を行っている。 令和3年度には、在籍児童数の急増により、立花吾嬬の森小学校に、特別支援学級(知的固定学級)を開設した。これにより、現在は、知的固定学級を小学校9校、中学校5校に、難聴言語通級学級を小学校4校、中学校1校に、それぞれ設置している。 令和4年度に緑小学校の知的固定学級の教室を改修し、受入れ可能人数の増を図った。 令和5年度は、第一寺島小学校の特別支援教室と墨田中学校のトイレを改修する。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		-	-	-	825	17,973	1,408
A.決算額(令和5年度は見込み)		-	-	-	587	15,755	1,408
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	587	15,755	1,408
執行率(%)		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	71.2%	87.7%	100.0%
B.人コスト					880	1,636	
総事業決算額(A+B)		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	1,467	17,391	
予算書P(令和5年度)	P239、P247	執行実績報告書P(令和4年度)			P177		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
工事請負費	立花吾嬢の森小特別支援学級開設	587	委託料	緑小・固定学級の改修等	116	工事請負費	一寺小・墨田中改修	1,408
			工事請負費	緑小・柳島小改修	15,006			
			備品購入費	緑小・固定学級の改修等	633			

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	特別支援学級等設置校数(固定、通級学級及び特別支援教室)複数種別設置校は種別ごとに積算				単 位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		53	R7	目標	25	37	44	47
				実績	25	37	44	47
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	53	53	53	53	53	53
	実績	53	54	54				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	特別支援学級設置校数を指標及び目標値とした。特別支援教室は平成28年度から令和2年度までで全小中学校に開設し、令和3年4月に立花吾嬢の森小学校に特別支援学級(固定学級知的障害)を開設した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	特別支援学級在籍児童生徒数(固定学級、通級学級及び特別支援教室) (各年5月1日現在)				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
800		R7	目標	470	560	600	800	
			実績	484	567	680	767	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		800	800	800	800	800	800	
実績	869	954	990					
指標の選定理由及び目標値の理由								
特別支援学級に在籍している児童生徒数を指標・目標値とした。 特別支援教室の設置校の増加により、利用児童・生徒数が増えることが見込まれる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も特別な支援を必要とする児童生徒は増加していくことが見込まれる。 また、経年により施設及び設備等の老朽化などに対応するなど、特別支援教育についての環境整備を行っていく。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる	部内優先順位		
事業名	幼稚園管理運営費		7		
目的	墨田区立幼稚園の円滑な管理運営及び施設の維持管理をする。		主管課・係(担当)		
			学務課・事務担当		
			03-5608-6303		
対象者	保護者とともに墨田区に住んでいる幼児を対象としている。現在、墨田区立幼稚園には6園あり、定員は420名(定員35名×2クラス×6園)である。なお、心身に軽度の障害があり介助があれば集団保育に適應できる特別な支援を要する幼児については、各クラス2名程度、全幼稚園で受入れている。				
根拠法令 関連計画	学校教育法、幼稚園設置基準(文科省令)、墨田区立幼稚園設置条例、墨田区立幼稚園の管理運営に関する規則				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名
事業内容	墨田区立幼稚園の管理運営に必要な経費(管理用消耗品や備品の購入、施設の維持管理に係る光熱水費、電話、郵送、廃棄物等収集運搬、カーテンクリーニング、窓ガラス清掃等の役務費、砂場の清掃・消毒等の施設管理委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金)を計上している。				
経過	開始年度	昭和44年度		終了予定	
	昭和30年代後半から幼稚園入園希望者が増加し、区内の私立幼稚園だけでは収容しきれなくなった。それを補完する意味から、昭和44年に2園(緑幼稚園・第三寺島幼稚園)、昭和46年に2園(柳島幼稚園・八広幼稚園)、昭和48年に2園(菊川幼稚園・曳舟幼稚園)、昭和50年に1園(立花幼稚園)、昭和55年に1園(中川幼稚園)、区立幼稚園を開設した。その後、区の人口減少に伴い園児数も減少し、平成5年3月、中川幼稚園を廃園した。区立幼稚園の開設当初は、1年保育のみ実施していたが、昭和48年度から2年保育を行っている。また、昭和57年度から全幼稚園で、各クラス学級定員35名のうち2名程度、特別な支援を要する幼児の受入れを実施している。 なお、区立幼稚園のより良い教育環境を確保していくために適正配置も含め検討し、令和4年度末をもって曳舟幼稚園を廃園した。				
議会質問 の状況	[令和2年度2月議会子ども文教委員会] 今後の墨田区の幼児教育のあり方について、適正配置の観点だけでなく、教育内容の質向上のための取り組みの充実や、預かり保育などの教育サービスの観点からも、方向性を考えていく必要がある。				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		20,255	19,481	19,550	18,736	22,281	22,835
A.決算額(令和5年度は見込み)		18,347	18,501	18,057	18,309	20,023	22,835
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		18,347	18,501	18,057	18,309	20,023	22,835
執行率(%)		90.6%	95.0%	92.4%	97.7%	89.9%	100.0%
B.人コスト		4,922	4,369	4,411	4,398	4,089	
総事業決算額(A+B)		23,269	22,870	22,468	22,707	24,112	
予算書P(令和5年度)	P252 NO.4	執行実績報告書P(令和4年度)			P191 NO.4		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
交際費	園長交際費	120	報償費	講師謝礼	131	報償費	講師謝礼	96
需用費	光熱水費	10,510	交際費	園長交際費	124	交際費	園長交際費	144
役務費	通信運搬料、保険料	2,807	需用費	光熱水費	11,812	需用費	光熱水費	12,940
委託料	砂場の清掃・消毒等	811	役務費	通信運搬料、保険料	2,931	役務費	通信運搬料、保険料	4,803
使用料及び賃借料	消火器・印刷機・複写機・FAX付複写機等様上	1,926	委託料	砂場の清掃・消毒等	874	委託料	砂場の清掃・消毒等	1,485
備品購入費	幼稚園管理備品	1,736	使用料及び賃借料	消火器・印刷機・複写機・FAX付複写機等様上	1,780	使用料及び賃借料	消火器・印刷機・複写機・FAX付複写機等様上	1,940
負担金及び交付金		403	備品購入費	幼稚園管理備品	2,210	備品購入費	幼稚園管理備品	1,200
			負担金及び交付金		163	負担金及び交付金		227

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	区立幼稚園数				単 位	園
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		6	7	目標	7	7	7	7
				実績	7	7	7	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	7	7	7	6	6	6
	実績	7	7	7	6			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区立幼稚園数を指標及び目標値とした。 曳舟幼稚園を令和4年度末に廃園したことを踏まえ、令和5年度以降の目標値を修正した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	区立幼稚園在園児数(5月1日時点)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		360	7	目標	420	420	420	420
				実績	380	384	400	338
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	420	420	390	360	360	360
実績	272	245	195	143				
指標の選定理由及び目標値の理由								
区立幼稚園の園児数(5月1日時点)を指標及び目標値とした。 曳舟幼稚園の新4歳児学級を令和4年度から廃止したことを踏まえ、令和4年度以降の目標値を修正した。 曳舟幼稚園を令和4年度末に廃園したことを踏まえ、令和5年度以降の目標値を修正した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	適正な施設の維持管理に努め、区立幼稚園の円滑な運営を図っていく。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる	部内優先順位		
事業名	要保護及準要保護児童生徒就学援助		8		
目的	経済的な理由により、学校でかかる費用の支払いが困難な保護者に対し、その費用の一部を援助することで、保護者の経済的な負担軽減となっている。		主管課・係(担当)		
			学務課事務担当		
			03-5608-6303		
対象者	区内在住の児童・生徒の保護者(生活保護及び所得が生活保護基準に準ずる程度)				
根拠法令 関連計画	教育基本法、学校教育法、就学困難な児童生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律、墨田区就学援助費支給要綱				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名
事業内容	支給費目 ・要保護者(生活保護受給者) (1)修学旅行費 (2)校外活動費 (3)運動着費 (4)医療費 ・準要保護者(所得が生活保護基準に準ずる程度の者) (1)学用品費 (2)新入学生徒学用品費(入学準備金) (3)修学旅行費 (4)校外活動費 (5)クラブ活動費 (6)メガネ購入費 (7)給食費 (8)体育実技用具費 (9)運動着費 (10)医療費				
経過	開始年度	昭和31年		終了予定	
	・平成16年度をもって準要保護者の国庫補助金が廃止。 ・平成25年8月から生活保護基準変更(基準引下げ)となったが、就学援助認定基準は、平成25年8月1日以前の生活保護基準(「第68次生活保護基準」)を適用している。 平成30年10月、生活保護基準が見直され、3年間かけて段階的に基準額改定の予定だが、就学援助認定基準は、引き続き「第68次生活保護基準」を適用している。 ・新入学児童生徒学用品費(入学準備金)の入学前(前倒し)支給を平成30年度入学者より、2月下旬に実施。				
議会質問の状況	・平成28年第3回定例会 「就学援助の拡充」について ・平成29年予算特別委員会 「新入学児童生徒学用品費(入学準備金)の前倒し支給」について ・平成30年第1回定例会 「生活保護の見直しに伴う就学援助認定基準」について				
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 年間スケジュール ・4月上旬に申請書配付(4月末日年度当初締切)、7月上旬に認定結果通知を郵送。 ・12月上旬に新入学児童生徒学用品費(入学準備金)の入学前支給の申請書配付(1月中旬締切)、2月中旬に認定結果通知を郵送。				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		382,277	373,596	388,171	367,079	358,340	332,426
A.決算額(令和5年度は見込み)		342,514	310,293	311,989	309,181	281,664	332,426
財源	国	1,209	888	655	959	627	992
	都						
	その他						
一般財源		341,305	309,405	311,334	308,222	281,037	331,434
執行率(%)		89.6%	83.1%	80.4%	84.2%	78.6%	100.0%
B.人コスト		19,687	17,476	17,644	17,591	16,358	
総事業決算額(A+B)		362,201	327,769	329,633	326,772	298,022	
予算書P(令和5年度)	小P242 1、中249 1	執行実績報告書P(令和4年度)			小P180 1、中P188 1		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	帰宅困難者対策事業				9
目的	平成25年4月に施行された東京都帰宅困難者対策条例に基づき、災害時に帰宅困難となった保護者が企業等に留まることを想定し、園児・児童・生徒及び教職員の食料、水、防寒具等を各小中学校(園)に備蓄する。				主管課・係(担当)
					庶務課庶務・教職員担当 03-5608-6302
対象者	園児・児童・生徒及び教職員				
根拠法令 関連計画	東京都帰宅困難者対策条例				
実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	園児・児童・生徒・教職員(約15,000人)向けの災害備蓄品(食糧、飲料水、防寒具)を購入する。				
経過	開始年度	26年度		終了予定	
	平成25年4月に東京都帰宅困難者対策条例が施行されたことに伴い、平成26年度から園児・児童・生徒・教職員向けの災害備蓄品(食糧、飲料水、防寒具)を購入し、幼稚園・各小中学校に備蓄をしている。目標とする備蓄品の備蓄数を、平成29年度に3日分から1日分へ見直しを行った。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		15,000	14,968	14,957	13,931	14,426	12,489
A.決算額(令和5年度は見込み)		14,985	14,686	12,549	13,872	13,971	12,489
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		14,985	14,686	12,549	13,872	13,971	12,489
執行率(%)		99.9%	98.1%	83.9%	99.6%	96.8%	100.0%
B.人コスト							
総事業決算額(A+B)		14,985	14,686	12,549	13,872	13,971	
予算書P(令和5年度)	P233	執行実績報告書P(令和4年度)			P172		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	備蓄品購入費	13,872	需用費	備蓄品購入費	13,856	需用費	備蓄品購入費	12,489
				役務費	322			
				委託料	248			

事業 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	食料備蓄数				単位	食
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		46191	37	目標	75,299	46,191	46,191	46,191
				実績	45,928	48,318	51,272	58,282
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46,191	46,191	46,191	46,191	46,191	46,191
	実績	55,464	50,682	48,594				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	各小中学校園に、食料、飲料水、防寒具を平成26年度から4か年計画で配備をすすめ、当初の計画の予定食数を指標の目標としたが、平成29年度に配備基準見直しを行い目標値を修正した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	食料備蓄率(1日分)				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
100		37	目標	100	100	100	100	
			実績	60	104.8	111	127.4	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		100	100	100	100	100	100	
実績	119.4	108.4	104.3					
指標の選定理由及び目標値の理由								
各小中学校園に、食料、飲料水、防寒具を配布しており、人数に対する必要食数を目標値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	アレルギー除去食の備蓄等、必要に応じて備蓄内容を修正し、計画的に各学校に備蓄を行った。今後は、備蓄品食料を消費期限前に定期的に入れ替えし、安定的に備蓄を継続していく。

課題・問題点
賞味期限の到来を迎える食糧・飲料水について、入替え時期及び期限が切れる備蓄品の活用方法を検討する必要がある。

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	通学路防犯設備整備事業				10
目的	通学路に防犯カメラを設置することにより、学校、地域が行う児童の見守り活動を補完するとともに、通学路における児童の安全を確保する。				主管課・係(担当)
					庶務課 企画・法規担当
					03-5608-1258
対象者	児童、生徒				
根拠法令 関連計画	東京都通学路防犯設備整備事業交付要綱(令和元年度から東京都登下校区域防犯設備補助金交付要綱)				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	3
事業内容	防犯カメラを通学路に設置し、管理運用することにより、児童・生徒にかかわる犯罪及び交通事故等を抑止する。				
経過	開始年度	平成26年		終了予定	
	平成26年度より、東京都において、通学路防犯整備事業が開始されたことに伴い、順次、小学校の通学路に防犯カメラの設置を行い、管理運用を行ってきた。本区では、平成26年度に小学校4校に19台、平成27年度に小学校10校49台、平成28年度に小学校11校53台を設置し、全小学校に合計121台を設置した。また、令和3年度に小学校3校に新たに1台ずつ計3台を設置し、現在は合計124台になっている。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		6,020	6,022	6,421	8,781	7,872	8,424
A.決算額(令和5年度は見込み)		5,652	5,704	6,244	8,236	6,569	8,424
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		5,652	5,704	6,244	8,236	6,569	8,424
執行率(%)		93.9%	94.7%	97.2%	93.8%	83.4%	100.0%
B.人コスト		2,664	2,621	1,764	1,759	1,636	
総事業決算額(A+B)		8,316	8,325	8,008	9,995	8,205	
予算書P(令和5年度)	241	執行実績報告書P(令和4年度)			P179 20		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	防犯カメラ電気料・修繕費	2,059	需用費	防犯カメラ電気料・修繕費	1,347	需用費	防犯カメラ電気料・修繕費	1,475
委託料	防犯カメラメンテナンス費	4,906	委託料	防犯カメラメンテナンス費	4,977	委託料	防犯カメラメンテナンス費	4,763
使用料及び賃借料	防犯カメラ共架料・添架料	157	使用料及び賃借料	防犯カメラ共架料・添架料・リース料	245	使用料及び賃借料	防犯カメラ共架料・添架料・リース料	2,040
工事請負費	防犯カメラ設置・移設工事費	1,114	工事請負費	防犯カメラ設置・移設工事費	0	工事請負費	防犯カメラ設置・移設工事費	146

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	防犯カメラの設置・運用校				単位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		25	R7	目標	25	25	25	25
				実績	25	25	25	25
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	25	25	25	25	25	25
	実績	25	25	25				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内全小学校に設置・運用することで、広域的に通学路の安全確保を図ることができるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	通学路の防犯カメラの設置・運用台数				単位	台
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		121	R7	目標	121	121	121	121
				実績	121	121	121	121
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	121	121	121	121	121	121
実績	121	124	124					
指標の選定理由及び目標値の理由								
既設カメラを適正に運用することで、通学区域の広域的な防犯対策等が講じられるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	防犯等の効果が出ており、児童・生徒に関わる重大事案は発生していない。引き続き防犯カメラの安定的な管理運用を行っていく。

課題・問題点
区内全域に防犯カメラが点在しており、機器の経年劣化も進んでいるため、不具合を見つけ、修繕等を適宜対応していく必要がある。機器の安定的な運用をするため、引き続きメンテナンス等を継続して実施していく。耐用年数が6～7年と言われているため、令和4年度からリース契約による機器の更新を開始した。初年度は5台更新したが、今後も順次同様の方法で機器の更新を行う。

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位	
事業名	学校管理業務委託事業				11	
目的	学校の施設管理業務等を効果的、効率的に実施するため、平成20年度から民間委託を実施している。				主管課・係(担当)	
					庶務課庶務・教職員担当	
対象者	園児・児童・生徒及び教職員等					
根拠法令						
関連計画						
実施基準		実施方法		人員体制・委託先		
事業内容	学校の施設管理業務等を効果的、効率的に実施するため、平成20年度から民間委託を実施している。令和3年度は、小学校全25校中24校、中学校全10校中8校、幼稚園全7園において委託を行っている。					
経過	開始年度	平成20年度		終了予定		
	導入経過	[平成20年度] 小学校3校、中学校1校、幼稚園3園	[平成21年度] 小学校4校、幼稚園1園	[平成22年度] 小学校2校、幼稚園1園	[平成23年度] 小学校1校、幼稚園1園	
	[平成24年度] 小学校2校、中学校2校	[平成25年度] 小学校1校、中学校1校	[平成26年度] 小学校2校、中学校1校、幼稚園1園	[平成27年度] 小学校2校、中学校1校	[平成28年度] 小学校1校	
	[平成28年度] 小学校1校	[平成29年度] 小学校2校	[平成30年度] 小学校2校	[令和元年度] 小学校1校、中学校1校	[令和2年度] 小学校1校	
	[令和2年度] 小学校1校	[令和3年度] 新規委託無	[令和4年度] 中学校1校	[令和4年度] 中学校1校		
議会質問の状況	[平成28年1定] 学校管理業務の民間委託について [平成28年3定] 学校管理業務委託について [平成28年4定] 学校管理員の業務契約について					
その他特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		446,236	493,845	499,485	488,065	512,365	530,101
A.決算額(令和5年度は見込み)		442,243	484,186	493,443	487,221	505,538	530,101
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		442,243	484,186	493,443	487,221	505,538	530,101
執行率(%)		99.1%	98.0%	98.8%	99.8%	98.7%	100.0%
B.人コスト			2,621	2,647	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		442,243	486,807	496,090	489,860	505,540	
予算書P(令和5年度)	P238・P246・P252					P176・P184・P191	

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる	部内優先順位			
事業名	幼稚園事業費				12	
目的	墨田区立幼稚園の円滑な事業推進及びその充実を図る。				主管課・係(担当)	
					学務課・事務担当	
					03-5608-6303	
対象者	保護者とともに墨田区に住んでいる幼児を対象としている。現在、墨田区立幼稚園には6園あり、定員は420名(定員35名×2クラス×6園)である。なお、心身に軽度の障害があり介助があれば集団保育に適應できる特別な支援を要する幼児については、各クラス2名程度、全幼稚園で受入れている。					
根拠法令 関連計画	学校教育法、幼稚園設置基準(文科省令)、墨田区立幼稚園設置条例、墨田区立幼稚園の管理運営に関する規則					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名	
事業内容	墨田区立幼稚園の教育活動に必要な経費(教材用消耗品や備品の購入、保育研究会開催に係る費用、行事用食糧費、実費徴収補足給付事業)を計上している。					
経過	開始年度	昭和44年度		終了予定		
	昭和30年代後半から幼稚園入園希望者が増加し、区内の私立幼稚園だけでは収容しきれなくなった。それを補完する意味から、昭和44年に2園(緑幼稚園・第三寺島幼稚園)、昭和46年に2園(柳島幼稚園・八広幼稚園)、昭和48年に2園(菊川幼稚園・曳舟幼稚園)、昭和50年に1園(立花幼稚園)、昭和55年に1園(中川幼稚園)、区立幼稚園を開設した。その後、区の人口減少に伴い園児数も減少し、平成5年3月、中川幼稚園を廃園した。区立幼稚園の開設当初は、1年保育のみ実施していたが、昭和48年度から2年保育を行っている。また、昭和57年度から全幼稚園で、各クラス学級定員35名のうち2名程度、特別な支援を要する幼児の受入れを実施している。なお、区立幼稚園のより良い教育環境を確保していくために適正配置も含め検討し、令和4年度末をもって曳舟幼稚園を廃園した。					
議会質問 の状況	[令和2年度2月議会子ども文教委員会] 今後の墨田区の幼児教育のあり方について、適正配置の観点だけでなく、教育内容の質向上のための取り組みの充実や、預かり保育などの教育サービスの観点からも、方向性を考えていく必要がある。					
その他 特記事項						

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		7,249	7,109	7,047	7,208	6,940	6,561
A.決算額(令和5年度は見込み)		6,686	6,766	6,505	6,673	5,999	6,561
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,686	6,766	6,505	6,673	5,999	6,561
執行率(%)		92.2%	95.2%	92.3%	92.6%	86.4%	100.0%
B.人コスト		4,922	4,369	4,411	4,398	4,089	
総事業決算額(A+B)		11,608	11,135	10,916	11,071	10,088	
予算書P(令和5年度)	P253 NO.5	執行実績報告書P(令和4年度)			P191 NO.5		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	保育研究会講師謝礼	140	報償費	保育研究会講師謝礼	140	報償費	保育研究会講師謝礼	120
需用費	行事食糧費、修了証書印刷製本費等	5,901	需用費	行事食糧費、修了証書印刷製本費等	5,163	需用費	行事食糧費、修了証書印刷製本費等	5,603
備品購入費		632	備品購入費		696	備品購入費		783
負担金補助及び交付金		0	負担金補助及び交付金		0	負担金補助及び交付金		55

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区立幼稚園数				単位	園
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		6	7	目標	7	7	7	7
				実績	7	7	7	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	7	7	7	6	6	6
		実績	7	7	7	6		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区立幼稚園数を指標及び目標値とした。 曳舟幼稚園を令和4年度末に廃園したことを踏まえ、令和5年度以降の目標値を修正した。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区立幼稚園在園児数(5月1日時点)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		360	7	目標	420	420	420	420
				実績	380	384	400	338
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	420	420	390	360	360	360
	実績	272	245	195	143			
指標の選定理由及び目標値の理由								
区立幼稚園の園児数(5月1日時点)を指標及び目標値とした。 曳舟幼稚園の新4歳児学級を令和4年度から廃止したことを踏まえ、令和4年度以降の目標値を修正した。 曳舟幼稚園を令和4年度末に廃園したことを踏まえ、令和5年度以降の目標値を修正した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も区立幼稚園における教育活動の充実を図ることで、幼児教育の向上に資する。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	幼稚園保健衛生費				13
目的	墨田区立幼稚園の園児及び教職員の健康保持・増進を図る。				主管課・係(担当)
					学務課・事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区立幼稚園6園、園児数定員420名(定員35名×2クラス×6園)、教職員数18名				
根拠法令 関連計画	学校教育法、学校保健安全法				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名
事業内容	墨田区立幼稚園の園児及び教職員の健康保持・増進に必要な経費(園医報酬、新入園児健康診断報償費、教職員健康診断等委託料、日本スポーツ振興センター共済掛金、保健用消耗品及び備品購入費を計上している。				
経過	開始年度	昭和44年度		終了予定	
	昭和30年代後半から幼稚園入園希望者が増加し、区内の私立幼稚園だけでは収容しきれなくなった。それを補完する意味から、昭和44年に2園(緑幼稚園・第三寺島幼稚園)、昭和46年に2園(柳島幼稚園・八広幼稚園)、昭和48年に2園(菊川幼稚園・曳舟幼稚園)、昭和50年に1園(立花幼稚園)、昭和55年に1園(中川幼稚園)、区立幼稚園を開設した。その後、区の人口減少に伴い園児数も減少し、平成5年3月、中川幼稚園を廃園した。区立幼稚園の開設当初は、1年保育のみ実施していたが、昭和48年度から2年保育を行っている。また、昭和57年度から全幼稚園で、各クラス学級定員35名のうち2名程度、特別な支援を要する幼児の受入れを実施している。なお、区立幼稚園のより良い教育環境を確保していくために適正配置も含め検討し、令和4年度末をもって曳舟幼稚園を廃園した。				
議会質問 の状況	[令和2年度2月議会子ども文教委員会] 今後の墨田区の幼児教育のあり方について、適正配置の観点だけでなく、教育内容の質向上のための取り組みの充実や、預かり保育などの教育サービスの観点からも、方向性を考えていく必要がある。				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		15,442	15,285	15,199	15,199	15,213	13,190
A.決算額(令和5年度は見込み)		14,924	14,789	14,440	14,661	14,673	13,190
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		14,924	14,789	14,440	14,661	14,673	13,190
執行率(%)		96.6%	96.8%	95.0%	96.5%	96.5%	100.0%
B.人コスト		3,937	3,495	3,529	3,518	3,272	
総事業決算額(A+B)		18,861	18,284	17,969	18,179	17,945	
予算書P(令和5年度)	P253 NO.6	執行実績報告書P(令和4年度)			P192 NO.6		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	園医報酬	13,524	報酬	園児報酬	13,524	報酬	園児報酬	11,592
報償費	新入園児健康診断報償費	195	報償費	新入園児健康診断報償費	167	報償費	新入園児健康診断報償費	167
需用費	消耗品費	83	需用費	消耗品費	65	需用費	消耗品費	78
委託料	教職員健康診断、園児健康管理	725	委託料	教職員健康診断、園児健康管理	791	委託料	教職員健康診断、園児健康管理	1,208
備品購入費	保健衛生備品	65	備品購入費	保健衛生備品	70	備品購入費	保健衛生備品	70
負担金	日本スポーツ振興センター共済掛金	71	負担金	日本スポーツ振興センター共済掛金	57	負担金	日本スポーツ振興センター共済掛金	75

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	区立幼稚園数				単 位	園
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		6	7	目標	7	7	7	7
				実績	7	7	7	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	7	7	7	6	6	6
		実績	7	7	7	6		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区立幼稚園数を指標及び目標値とした。 曳舟幼稚園を令和4年度末に廃園したことを踏まえ、令和5年度以降の目標値を修正した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	区立幼稚園在園児数(5月1日時点)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		360	7	目標	420	420	420	420
				実績	380	384	400	338
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	420	420	390	360	360	360
	実績	272	245	195	143			
指標の選定理由及び目標値の理由								
区立幼稚園の園児数(5月1日時点)を指標及び目標値とした。 曳舟幼稚園の新4歳児学級を令和4年度から廃止したことを踏まえ、令和4年度以降の目標値を修正した。 曳舟幼稚園を令和4年度末に廃園したことを踏まえ、令和5年度以降の目標値を修正した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も区立幼稚園の園児及び教職員の健康保持・増進を図ることで、幼児教育の向上に資する。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる	部内優先順位			
事業名	学校ICT化推進事業				14	
目的	・校務の情報化:校務の効率化を図り、教員が児童・生徒に向き合う時間を確保する。 ・教科活動におけるICT活用:より「わかる授業」を実現する。ICTを活用した授業改善を行う。 ・情報教育:児童・生徒の情報活用能力の育成。				主管課・係(担当)	
					庶務課 教育情報担当	
					03-5608-1294	
対象者	区立幼稚園・小中学校の教職員及び児童・生徒					
根拠法令 関連計画	第三期教育振興基本計画、教育のIT化に向けた環境整備5か年計画、墨田区行政情報化推進計画、すみだ教育指針、GIGAスクール構想					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤3、会計年度1、人派1、委託 NEC	
事業内容	・校務の情報化 平成22年度から校務用PC及び校務支援システムを導入し、指導要録や通知表等の校務事務を軽減している。 ・教科活動におけるICT活用 電子黒板を普通教室・特別教室に整備し、タブレット端末等を各教員に配備。日常的な授業改善ができる環境整備を行っている。 ・情報教育 コンピュータ室の整備、児童生徒端末整備のモデル実施(3クラスに1クラス分の端末整備、小・中学校各1校、H30年度から)を通じ、情報活用能力の育成を図る。 ・学校ICTネットワークの運営、学校ホームページの運営、ICTに係る研修等を行い、学校における情報化の推進を図っている。					
経過	開始年度	平成21年度		終了予定		
	平成20年度 「区立学校におけるICT化推進計画」策定 平成21年度 校務用PC及び校務支援システムの導入 平成22年度 校務支援システムの運用開始 平成26～28年度 電子黒板、教員用タブレット端末整備 平成27年度 校務用PC等機器更新 平成28年度 クラウドサービス導入(運用開始) 平成30年度～ 児童生徒用端末整備 モデル校(小学校1校、中学校1校) PCルールの機器更新は、各校とも概ね5年(6年)ごとに更新を行っている。 令和元年度 次期校務支援システムの選定 令和2年度 GIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人1台のタブレット端末の配布 令和3年度 校務支援システムカスタマイズ GIGAスクール支援員の支援業務拡充 令和4年度 デジタル採点システム導入 教員のICT利活用サポート体制の展開					
議会質問 の状況	[平成31年1定]統合型校務支援システムの導入について [令和2年11月議会]GIGAスクール構想について [令和3年6月議会]GIGAスクール構想について [令和3年11月議会]児童・生徒のデジタル機器使用に関する諸問題について [令和4年2月議会]教育委員会のシステムの脆弱性について					
その他 特記事項	細目:学校ネットワークシステム運用経費、普通教室ICT運用経費(小・中)、コンピュータ室管理(小・中)の合計					

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)	723,028	885,573	1,391,778	1,127,852	1,062,715	1,040,927
A.決算額(令和5年度は見込み)	721,093	788,897	1,338,542	1,063,565	1,032,031	1,040,927
財源	国		128,486		5,145	
	都		25,364	38,393	49,585	
	その他					
一般財源	721,093	788,897	1,184,692	1,025,172	977,301	1,040,927
執行率(%)	99.7%	89.1%	96.2%	94.3%	97.1%	100.0%
B.人コスト		17,476	17,673	20,230	18,016	
総事業決算額(A+B)	721,093	806,373	1,356,215	1,083,795	1,050,047	
予算書P(令和5年度)	P240-14		執行実績報告書P(令和4年度)		P178-15	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
13委託料	学校ICTネットワークシステム運用保守等	356,516	13委託料	学校ICTネットワークシステム運用保守等	366,684	13委託料	学校ICTネットワークシステム運用保守等	379,144
14使用料及び賃借料	[GIGA]タブレット端末外の備上等	459,871	14使用料及び賃借料	[GIGA]タブレット端末外の備上等	470,850	14使用料及び賃借料	[GIGA]タブレット端末外の備上等	477,311
13委託料	小学校PCルーム保守等	7,853	13委託料	小学校PCルーム保守等	6,068	13委託料	小学校PCルーム保守等	429
14使用料及び賃借料	小学校PCリース等	22,678	14使用料及び賃借料	小学校PCリース等	16,368	14使用料及び賃借料	小学校PCリース等	1,076
13委託料	小学校システム巡回相談業務委託等	18,686	13委託料	小学校システム巡回相談業務委託等	19,115	13委託料	小学校システム巡回相談業務委託等	20,127
14使用料及び賃借料	小学校タブレット等リース	93,435	14使用料及び賃借料	小学校タブレット等リース	58,289	14使用料及び賃借料	小学校タブレット等リース	42,026
13委託料	中学校PCルーム保守等	14,699	13委託料	中学校PCルーム保守等	14,699	13委託料	中学校PCルーム保守等	14,652
14使用料及び賃借料	中学校PCリース等	35,403	14使用料及び賃借料	中学校PCリース等	35,403	14使用料及び賃借料	中学校PCリース等	35,867
13委託料	中学校システム巡回相談業務委託等	9,338	13委託料	中学校システム巡回相談業務委託等	9,098	13委託料	中学校システム巡回相談業務委託等	10,786
14使用料及び賃借料	中学校タブレット等リース	33,842	14使用料及び賃借料	中学校タブレット等リース	18,032	14使用料及び賃借料	中学校タブレット等リース	36,905

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	教員のICT活用に関する研修の受講率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R7	目標	100	100	100	100
				実績	67.7	69.7	66.6	77.2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	69	60	62.6			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	教員自身がICTを活用した授業改善を進めたり、児童・生徒によるICT活用を指導するためには、操作方法だけでなく、活用に向けた研修の実施が重要であるため(文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」)							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	授業中にICTを活用できると回答した教員の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		95	R7	目標	90	90	90	90
				実績	88.3	82.9	82.3	84.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	95
	実績	80.3	86.7	90.4				
指標の選定理由及び目標値の理由								
ICTを活用した授業改善を実施する上で、教員のICT活用能力が必須のスキルと考えられるため。(文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」)								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<ul style="list-style-type: none"> 研修について：コロナ禍であり、研修の開催・参加には困難な条件が重なっていたが、オンラインや動画による研修を工夫することで、未実施を防ぐことはできた。 教員のICT活用能力について：支援員による授業サポートや、各種研修の実施により、活用能力(できる、ややできると回答した教員の割合)は向上している

課題・問題点
GIGAスクール構想の推進 ハードや環境の整備についてはすでに充足状態にあるので、引き続き部内各課の連携により活用の高度化を図っていく。 働き方改革の推進 各種システムを導入し「業務のICT化」を図っているが、システムに併せて各種業務の見直しも同時に行い、抜本的な働き方改革として「教育DX」を推進していく必要がある。

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	学校運営連絡協議会				15
目的	区立学校の教育活動の改善・充実にむけて、学校と家庭・地域とのより一層の連携を図る。				主管課・係（担当）
					指導室
					03-5608-6307
対象者	区立幼稚園・小・中学校				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	2人
事業内容	<p>・すみだ教育指針策定委員会の答申を受け、区立学校の教育活動を保護者や地域住民に公開し、開かれた学校づくりを推進するとともに、学校の課題解決に向けて学校、家庭、地域社会が果たすべき役割について協議し、地域社会全体が学校を支援するために、「学校評議員制度」を実施する。本区においては、名称を「学校運営連絡協議会」とする。</p>				
経過	開始年度	平成12年度		終了予定	
	<p>・平成12年度に学校評議員制度を全校に設置するに当たり、小・中学校1校ずつをモデル校に指定し、検討を図った。その結果を踏まえ、平成13年度から全校で制度を実施している。平成16年度に意識啓発を図るため、全体会を開催</p> <p>・平成22年度に幼稚園も含めて実施</p> <p>・平成30年度に現行の学校運営連絡協議会の制度を一部改正し、都型コミュニティスクールに移行した。</p> <p>・令和5年度10月にコミュニティスクールのモデル校を、小学校1校指定する予定</p>				
議会質問の状況					
その他特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		381	380	190	190	190	237
A.決算額（令和5年度は見込み）		309	318	170	166	171	237
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		309	318	170	166	171	237
執行率（％）		81.1%	83.7%	89.5%	87.4%	90.0%	100.0%
B.人コスト		984	1,748	1,764	1,759	1,636	
総事業決算額（A+B）		1,293	2,066	1,934	1,925	1,807	
予算書P（令和5年度）	P236 15	執行実績報告書P（令和4年度）			P174 17		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	協議会消耗品費	166	需用費	協議会消耗品費	171	報償費	協議会委員報酬	45
						需用費	協議会消耗品費	190
						役務費	協議会委員通信費	2

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	学校運営連絡協議会開催数（各校）				単位	回/1校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	R7	目標	3	3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
	実績	3	3	3				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	年間計画に基づき、定期的に協議会を開催し、意見交換等を行うことで学校運営の評価・改善に生かしていくため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	学校関係者評価の評定（全幼稚園・小・中学校の平均点）				単位	点
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
3.5		R7	目標	3.5	3.5	3.5	3.5	
			実績	3.4	3.5	3.4	3.5	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
実績	3.5	3.6	3.7					
指標の選定理由及び目標値の理由								
学校関係者評価は、学校の評価活動が訂正に行われていることに対する評価であり、評価結果の平均値向上は、学校運営の評価・改善が適正に図られていると捉えられるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	引き続き、墨田区立幼稚園、学校の教育活動を、保護者や地域住民等に広く公開し、開かれた学校づくりを推進するとともに、法定コミュニティスクールへの移行を検討し、地域社会全体による学校支援の充実を図っていく。

課題・問題点
・地域学校協働活動の企画・調整担当者を設置し、学校と地域住民等との連携・協力の一層の推進 ・コミュニティ・スクール、モデル校の実施と検証、学校支援体制の構築

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	緊急情報発信メール配信事業				16
目的	児童・生徒の安全確保のために、必要な情報を学校から保護者へ迅速に知らせることができる環境が必要である。情報提供をホームページに記載する方法もあるが、よりリアルタイムで情報を一斉に受信・発信できるという観点から、メール配信という手段も必要と判断し、本事業を実施する。				主管課・係(担当)
					庶務課 教育情報担当
					03-5608-1294
対象者	各区立幼稚園・小中学校(以下「学校等」という。)に通う児童・生徒の保護者				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	委託業者:株式会社コドモン、株式会社137
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全に係る不審者情報や事件・事故の発生情報などを、学校等から緊急に保護者に連絡を行う必要がある場合に、保護者の携帯電話やパソコンに一斉にメール発信し、必要な情報をリアルタイムで迅速に伝達するシステムである。 ・このシステムを活用して学校行事情報(運動会等の学校行事の変更・中止、バス等の交通機関の遅れによる遠足などの帰宅時間の変更、自然災害による休校や流行性疾患による学級閉鎖など子どもの登下校に関すること等)の配信も行う。 [令和4年度より] ・保護者から学校等へシステムを利用して欠席連絡が可能である。 				
経過	開始年度	平成18年度		終了予定	
	平成18年度から運用を開始し、平成22年度に委託業者を変更した。配信件数は、増加傾向にある。今後も様々な場面で学校と保護者間での必要な情報共有を当システムを利用して行っていくことが想定される。また、安全支援課が実施する安全安心メールと登録時に連携を行うことで、保護者が利用しやすい環境となっている。 令和4年度に委託業者変更し、教育DXの一環として欠席連絡システムとして再編成した。				
議会質問 の状況	[平成30年2定]学校情報連絡メールの登録状況について [平成31年予特]メールの配信内容について [令和2年11月議会]メールの既読確認について				
その他 特記事項	関連部署:子ども施設課				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		1,595	1,609	2,369	3,918	8,125	8,132
A.決算額(令和5年度は見込み)		1,594	1,608	2,369	2,796	8,062	8,132
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,594	1,608	2,369	2,796	8,062	8,132
執行率(%)		99.9%	99.9%	100.0%	71.4%	99.2%	100.0%
B.人コスト			2,621	2,647	2,639	1,636	
総事業決算額(A+B)		1,594	4,229	5,016	5,435	9,698	
予算書P(令和5年度)	P232	執行実績報告書P(令和4年度)			P172-15		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	教育関係広報発行				17
目的	教育委員会の事業、学校関連の内容を、広く内外に紹介することで、地域への教育情報発信となり、地域に開かれた魅力ある学校づくりに寄与することを目的とする。				主管課・係(担当)
					庶務課庶務・教職員担当 03-5608-6301
対象者	各区立幼稚園及び小中学校の全保護者、教員、関係機関等				
根拠法令 関連計画	墨田区総合教育会議条例において、「教育に係る諸課題について区民への周知を図る」と規定されている。				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1 委託先:株式会社ブルーホップほか
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 墨田区の教育を一般に紹介する広報誌を、年に4回発行する。 教育委員会の施策の課題を含む、具体的な取組状況をまとめた「教育概要」を年に1回発行する。 				
経過	開始年度	昭和56年度		終了予定	なし
	<p>教育広報「いきいき～すみだのきょういく～」</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和56年12月19日「教育委員会報」として、B5版6ページでスタート。 昭和58年度から「すみだのきょういく」と命名した。6月・10月・1月・3月に発行。 平成12年度から「いきいき～すみだのきょういく～」と名称を変更。 平成13年度からタブロイド版に変更し、幼・小・中の全保護者に配布。 <p>教育概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和60年度から毎年9月～10月に発行(当初はB5版、平成6年度からA4版に) 				
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		744	879	882	919	927	873
A.決算額(令和5年度は見込み)		730	807	803	800	729	632
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		730	807	803	800	729	632
執行率(%)		98.1%	91.8%	91.0%	87.1%	78.6%	72.4%
B.人コスト		984	874	882	880	818	
総事業決算額(A+B)		1,714	1,681	1,685	1,680	1,547	
予算書P(令和5年度)	P233-22	執行実績報告書P(令和4年度)			P.138		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	印刷製本費	721	需用費	印刷製本費	641	需用費	印刷製本費	776
役務費	各校への運搬料	79	役務費	各校への運搬料	88	役務費	各校への運搬料	97

事業 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	教育広報「いきいき」発行回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4	7	目標	4	4	4	4
				実績	4	4	4	4
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	4	4	4		
	実績	4	4	4				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	四季や学校行事などにあわせた内容を発行するため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	教育広報「いきいき」発行部数				単位	部
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		65200	7	目標	63600	63600	63600	63600
				実績	63600	63600	63600	63600
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	64000	65200	66800	67600		
実績	64000	66000	66800					
指標の選定理由及び目標値の理由								
区立幼小中の全保護者、教員、関係機関等に、情報周知が広く行われるよう配布するため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	広報「いきいき」は区立幼小中学校の保護者、教員、関係機関へ配布しており、教育情報を広く周知する手段として、有効である。ただし、現在は四半期に1回の発行のため、記事の精査等により、戦略的な広報に改善するよう、検討していく。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	防犯ブザーの配布				18
目的	防犯ブザーを配布し、児童の登下校時の安全確保を図ることで、より地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区在住もしくは墨田区立の小学校に在籍している児童				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	小学校児童に防犯ブザーを配布し、登下校時の安全確保を図る。				
経過	開始年度	平成16年度		終了予定	未定
	平成15年度以前はPTAから防犯対策の一環として支給されていたが、平成16年度から区立小学校児童全員への貸与を開始。翌年度以降は新1年生への新規貸与及び、2年生以上は機器不具合等での交換で対応。平成30年度からは使用実態に即し、貸与方式から配布方式へ変更した。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		1,236	1,167	1,078	990	990	1,056
A.決算額(令和5年度は見込み)		1,066	1,100	990	913	946	1,056
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,066	1,100	990	913	946	1,056
執行率(%)		86.2%	94.3%	91.8%	92.2%	95.6%	100.0%
B.人コスト		984	874	882	880	818	
総事業決算額(A+B)		2,050	1,974	1,872	1,793	1,764	
予算書P(令和5年度)	P241 18		執行実績報告書P(令和4年度)			P179 19	

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	理科教育等設備整備費事業(小・中)				19
目的	「観察・実験」の学力向上のための環境を整え、実験機会を追加することで、魅力ある学校環境をつくる。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区立小・中学校				
根拠法令 関連計画	理科教育振興法、教育基本法、学校教育法				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	理科に関する教育の内容及び方法を改善し、設備等の充実を図る。				
経過	開始年度	平成21年度		終了予定	
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(宅の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		2,800	2,350	2,350	2,800	2,350	2,350
A.決算額(令和5年度は見込み)		2,512	2,252	2,284	2,693	2,297	2,350
財源	国	1,255	1,125	978	1,300	1,087	1,175
	都						
	その他						
一般財源		1,257	1,127	1,306	1,393	1,210	1,175
執行率(%)		89.7%	95.8%	97.2%	96.2%	97.7%	100.0%
B.人コスト		2,953	2,621	2,647	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		5,465	4,873	4,931	5,332	4,751	
予算書P(令和5年度)	P39 1、小P239 12、中P247 13	執行実績報告書P(令和4年度)			小P178 13、中P186 14		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	小学校社会科見学等の交通費一部補助				20
目的	教育の機会均等の精神に基づき、保護者負担の軽減を図ることで、円滑な学校教育の実施を目指す。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	区立小学校児童(第3～6学年)の保護者				
根拠法令 関連計画	墨田区立小学校社会科見学交通費補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1名
事業内容	学校行事として社会科見学を実施するにあたり、区立小学校児童(第3～6学年)の保護者負担の軽減を図るため、区でバスを一括で借上げている。				
経過	開始年度	平成18年度		終了予定	
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		18,903	19,000	18,930	19,000	19,000	19,000
A.決算額(令和5年度は見込み)		16,820	17,898	17,898	14,295	14,597	19,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		16,820	17,898	17,898	14,295	14,597	19,000
執行率(%)		89.0%	94.2%	94.5%	75.2%	76.8%	100.0%
B.人コスト		984	874	882	880	1,636	
総事業決算額(A+B)		17,804	18,772	18,780	15,175	16,233	
予算書P(令和5年度)	P240 13	執行実績報告書P(令和4年度)			P178 14		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	卒業記念アルバム作成補助事業(小・中)				21
目的	教育の機会均等の精神に基づき、すべての児童生徒に対する義務教育の円滑な実施を図る。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区立小・中学校				
根拠法令 関連計画	墨田区立小・中学校卒業記念アルバム購入費補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	卒業記念アルバムの作成に係る経費について、保護者負担の軽減のために必要な経費の一部を補助している。				
経過	開始年度	平成14年度		終了予定	
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		20,046	20,086	20,326	21,375	20,849	20,261
A.決算額(令和5年度は見込み)		19,845	19,568	19,598	20,778	19,983	20,261
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		19,845	19,568	19,598	20,778	19,983	20,261
執行率(%)		99.0%	97.4%	96.4%	97.2%	95.8%	100.0%
B.人コスト		984	874	888	880	818	
総事業決算額(A+B)		20,829	20,442	20,486	21,658	20,801	
予算書P(令和5年度)	P239 No.7,P247 No.8	執行実績報告書P(令和4年度)			P177 No.8,P185 No.9		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	印刷製本	20,778	負担金補助及び交付金	印刷製本	19,983	負担金補助及び交付金	印刷製本	20,261

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助校数				単位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		35	R7	目標	35	35	35	35
				実績	35	35	35	35
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	35	35	35	35	35	35
		実績	35	35	35			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	対象となる小中学校数を指標及び目標値としている。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	補助冊数				単位	冊
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3,130	R7	目標	3,130	3,130	3,130	3,130
				実績	3,154	3,132	3,192	3,083
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,130	3,130	3,130	3,130	3,130	3,130
	実績	3,111	3,293	3,169				
指標の選定理由及び目標値の理由								
基準年の補助を行った冊数を指標及び目標値としているが、毎年冊数は変動する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	学校生活の思い出を綴った卒業記念アルバムを作成することで、児童生徒の母校に対する愛校心の醸成に寄与している。また、作成経費は高額であり、教育の機会均等、子どもの貧困対策の観点からも、教育費の保護者負担の軽減を図るための補助は必要である。学校規模に応じて補助を行うなど、補助内容の妥当性については適宜見直しを行っていく。

課題・問題点

補助金名	墨田区立小・中学校卒業記念アルバム購入費補助金		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区立小・中学校卒業記念アルバム購入費補助金交付要綱		学務課・事務担当
補助概要	卒業記念アルバムの作成に係る経費について、保護者負担の軽減のために必要な経費の一部を補助している。		03-5608-6303
目的	教育の機会均等の精神に基づき、すべての児童生徒に対する義務教育の円滑な実施を図る。		
対象	墨田区立小・中学校		
基準			
補助条件			
経過	開始年度		終了予定
	<p>補助対象：卒業生の人数分、校長1冊、卒業学年の担任分、副担任分（特別支援学級の担任を含む）、学校保管分1冊を合算した冊数</p> <p>補助単価：1冊あたり 小学校 6,050円、中学校 6,600円 <small>小規模校加算 児童数20人以上30人以下・・・1,650円 児童数20人未満・・・3,300円</small></p>		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		20,046	20,086	20,326	21,375	20,849	20,261
決算額（令和5年度は見込み）		19,845	19,568	19,598	20,778	19,983	20,261
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		19,845	19,568	19,598	20,778	19,983	20,261
執行率（％）		99.0%	97.4%	96.4%	97.2%	95.8%	100.0%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	対象校数				単 位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		35	R7	目 標	35	35	35	35
				実 績	35	35	35	35
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	35	35	35	35	35	35
		実 績	35	35				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	対象校数に応じ、卒業生が少ない学校には小規模校加算を行う等、各校の実情に応じた補助の状況を確認することができる。目標値については、35校(小学校25校、中学校10校)で設定している。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	対象冊数				単 位	冊
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3,083	R7	目 標	3,130	3,154	3,132	3,192
				実 績	3,154	3,132	3,192	3,083
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目 標		3,083	3,083	3,083	3,083	3,083	3,083	
実 績		3011	3293	3169				
指標の選定理由及び目標値の理由								
補助冊数に応じ、卒業生(特別支援学級含む)、卒業学年の担任分、副担任分、校長分、学校保管分に対する冊数合計を確認することができる。目標値については、前年度比で設定している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>学校生活の思い出を綴った卒業記念アルバムを作成することで、児童生徒の母校に対する愛校心の醸成に寄与している。また、作成経費は高額であり、教育の機会均等、子どもの貧困対策の観点からも、教育費の保護者負担の軽減を図るための補助は必要である。学校規模に応じて補助を行うなど、補助内容の妥当性については適宜見直しを行っていく。</p>

課題・問題点	

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	(公財)墨田育英会補助事業				22
目的	奨学金貸付事業を行っている公益財団法人墨田育英会に対して補助金をこうふすることにより、同財団の事業運営の充実・安定を図り、社会のために有為な人材の育成を図る。				主管課・係(担当)
					庶務課庶務・教職員担当
					03-5608-6302
対象者	学費等の貸付が必要な区民				
根拠法令 関連計画	公益財団法人墨田育英会				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	奨学金、入学準備金の貸付				
経過	開始年度	昭和59年度		終了予定	
	・昭和31年4月、有志により墨田育英会を設立 ・昭和59年度から区の補助金交付開始 ・平成24年4月、公益財団法人墨田育英会となる。				
議会質問 の状況	(平成30年4定)教育費の負担軽減について				
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
A.決算額(令和5年度は見込み)		1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			5,243	5,293	5,277	4,907	
総事業決算額(A+B)		1,700	6,943	6,993	6,977	6,607	
予算書P(令和5年度)	P232	執行実績報告書P(令和4年度)			P171		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	プラネタリウム・郷土文化資料館・北斎美術館見学(小)				23
目的	校外施設見学は教育課程に位置付けられており、強化学習の理解を深めるとともに、保護者負担の軽減を図る。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	校外施設(プラネタリウム・すみだ郷土文化資料館・すみだ北斎美術館)見学を実施する区立小学校児童の保護者				
根拠法令 関連計画	校外施設見学交通費補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	プラネタリウム・郷土文化資料館・北斎美術館見学実施するにあたり、区立小学校児童に対して、保護者の私費負担の軽減を図るために交通費を補助している。				
経過	開始年度	平成14年度		終了予定	
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		391	572	424	417	423	406
A.決算額(令和5年度は見込み)		290	243	0	0	0	406
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		290	243	0	0	0	406
執行率(%)		74.2%	42.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
B.人コスト		888	888	0	0	0	
総事業決算額(A+B)		1,178	1,131	0	0	0	
予算書P(令和5年度)	P240 No.13	執行実績報告書P(令和4年度)			P178 No.14		

補助金名	校外施設見学交通費補助金		主管課・係（担当）	
根拠法令	校外施設見学交通費補助金交付要綱		学務課・事務担当	
補助概要	プラネタリウム・すみだ郷土文化資料館・すみだ北斎美術館見学を実施するにあたり、区立小学校児童に対して交通費を補助することで、保護者の私費負担の軽減を図る。		03-5608-6303	
目的	校外施設見学は教育課程に位置付けられており、強化学習の理解を深めるとともに、保護者負担の軽減を図る。			
対象	校外施設見学（プラネタリウム・すみだ郷土文化資料館・すみだ北斎美術館）を実施する区立小学校児童の保護者			
基準	区独自基準			
補助条件	補助金の対象となる交通費は、最も合理的な経路及び方法により、学校と校外施設をそれぞれ往復するバス運賃及び鉄道運賃相当額とする。支給回数は校外施設ごとに、各学年1年度につき1回とする。			
経過	開始年度		終了予定	
議会質問の状況				
その他特記事項				

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		361	572	424	417	423	406
決算額（令和5年度は見込み）		290	243	0	0	0	406
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		290	243	0	0	0	406
執行率（％）		80.3%	42.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助対象校(延べ)				単 位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		18	R7	目標	14	18	18	18
				実績	18	18	16	15
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	18	18	18	18	18	18
		実績	0	0	0			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	徒歩による移動を行っている学校を除き、交通費の補助を行っている学校数を指標及び目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助学年数(延べ)				単 位	学年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	R7	目標	25	28	30	30
				実績	28	30	25	23
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		30	30	30	30	30	30	
実績		0	0	0				
指標の選定理由及び目標値の理由								
補助学年数を指標及び目標値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	校外施設見学は教育課程に位置付けられており、強化学習の理解を深めるとともに、保護者負担の軽減を図っている。校外施設見学に係る学習環境の整備に努め、学習向上に資するとともに、今後も保護者負担の軽減に配慮していく。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	小学校連合行事参加の交通費補助・学校行事に伴う交通費補助				24
目的	校外施設見学は教育課程に位置付けられており、強化学習の理解を深めるとともに、保護者負担の軽減を図る。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	オーケストラ鑑賞教室に参加する児童生徒の保護者				
根拠法令 関連計画	墨田区立小・中学校音楽行事補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	すみだトリフォニーホールで実施するオーケストラ鑑賞教室に参加する児童生徒に対して、保護者負担の軽減を図るため交通費を補助する。				
経過	開始年度	平成18年度		終了予定	
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		991	1,129	1,338	1,417	1,568	1,288
A.決算額(令和5年度は見込み)		958	1,084	0	1,879	695	1,288
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		958	1,084	0	1,879	695	1,288
執行率(%)		96.7%	96.0%	0.0%	132.6%	44.3%	100.0%
B.人コスト		0	888	888	880	818	
総事業決算額(A+B)		958	1,972	888	2,759	1,513	
予算書P(令和5年度)	P240 No.13	執行実績報告書P(令和4年度)			P178 No.14		

補助金名称	墨田区立小・中学校音楽行事補助金		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区立小・中学校音楽行事補助金交付要綱		学務課・事務担当
補助概要	すみだトリフォニーホールで実施するオーケストラ鑑賞教室に参加する児童生徒に対して、保護者の私費負担の軽減を図るため交通費を補助している。		03-5608-6303
目的	オーケストラ鑑賞を行うことで、文化芸術への関心を高め、情操教育の向上に資するとともに保護者負担の軽減を図る。		
対象	オーケストラ鑑賞教室に参加する児童生徒の保護者		
基準	区独自基準		
補助条件	学校と会場間の交通費を補助対象とし、借り上げバスを使用する場合は1台あたり6万5千円を上限とする。		
経過	開始年度	平成18年度	終了予定
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		991	1,129	1,338	1,417	1,568	1,288
決算額（令和5年度は見込み）		958	1,084	0	1,879	695	1,288
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		958	1,084	0	1,879	695	1,288
執行率（％）		96.7%	96.0%	0.0%	132.6%	44.3%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助対象校				単 位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		22	R7	目標	22	22	22	22
				実績	22	22	22	21
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	22	22	22	22	22	22
		実績	0	21	21			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	徒歩による移動を行っている学校を除き、交通費の補助を行っている学校数を指標及び目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	対象児童生徒数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,590	R7	目標	2,589	2,500	2,590	2,590
				実績	2,476	2,590	2,473	2,496
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		2,590	2,590	2,590	2,590	2,590	2,590	
実績		0	0	1752				
指標の選定理由及び目標値の理由								
徒歩による移動を行っている学校を除き、交通費の補助を行っている学校の生徒数を指標及び目標値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	オーケストラ鑑賞を行うことで、文化芸術への関心を高め、情操教育の向上に資するとともに保護者負担の軽減を図っている。連合行事の参加に係る交通費を補助することにより、文化芸術に親しむ機会を積極的に確保するとともに、保護者の負担軽減にも配慮していく。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	小・中学校連合行事費補助事業費				25
目的	各学校で行われている学芸的行事を区内の小・中学校に対して発表する機会を設けることで、児童生徒の文化的情操や学習意欲を高めることにつなげる。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	区立小・中学校の各種連合行事(連合学芸会、連合展覧会、連合音楽会、特別支援学級合同送別会)				
根拠法令 関連計画	墨田区立小・中学校連合行事補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	区立小中学校の各種連合行事(連合学芸会、連合展覧会、連合音楽会、特別支援学級合同送別会)に係る経費の援助をしている。				
経過	開始年度	平成14年		終了予定	
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		4,253	4,200	4,156	4,342	3,726	4,100
A.決算額(令和5年度は見込み)		4,004	3,529	1,060	2,873	3,067	4,100
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,004	3,529	1,060	2,873	3,067	4,100
執行率(%)		94.1%	84.0%	25.5%	66.2%	82.3%	100.0%
B.人コスト		984	874	882	880	818	
総事業決算額(A+B)		4,988	4,403	1,942	3,753	3,885	
予算書P(令和5年度)	P234 No.4	執行実績報告書P(令和4年度)			P173 No.5		

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	部活動大会参加者交通費等補助事業				26
目的	区を代表して出場する生徒の部活動大会への参加費用を補助することで、スポーツ・文化の実践の機会を保障し、生徒自身の健全な育成に資する。				主管課・係（担当）
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区立中学校に在籍し、区を代表して大会等に選手及び出演者として参加する生徒の保護者				
根拠法令 関連計画	中学校部活動大会参加者交通費等補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	区立中学校の部活動に係り、区を代表して大会等に選手及び出演者として参加する生徒の交通費等を補助している。				
経過	開始年度	平成14年度		終了予定	
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
A.決算額（令和5年度は見込み）		2,617	2,798	170	1,738	2,817	3,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,617	2,798	170	1,738	2,817	3,000
執行率（％）		87.2%	93.3%	5.7%	57.9%	93.9%	100.0%
B.人コスト		1,969	1,748	1,764	1,759	1,636	
総事業決算額（A+B）		4,586	4,546	1,934	3,497	4,453	
予算書P（令和5年度）	P247 No.7	執行実績報告書P（令和4年度）			P185 No.7		

補助金 名称	部活動大会参加者交通費等補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	中学校部活動大会参加者交通費等補助事業費			学務課・事務担当		
補助概要	区立中学校の部活動に係り、区を代表して大会等に選手及び出演者として参加する生徒の交通費等を補助している。			03-5608-6303		
目的	区を代表して出場する生徒の部活動大会への参加費用を補助することで、スポーツ・文化の実践の機会を保障し、生徒自身の健全な育成に資する。					
対象	墨田区立中学校に在籍し、区を代表して大会等に選手及び出演者として参加する生徒の保護者					
基準	区独自基準					
補助条件	墨田区立中学校に在籍し、区を代表して大会等に選手及び出演者として参加していること。					
経過	開始年度	平成18年度		終了予定		
議会質問 の状況						
その他 特記事項						

予算・決算額推移（千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額（事業費）		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
決算額（令和5年度は見込み）		2,617	2,798	170	1,738	2,817	3,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,617	2,798	170	1,738	2,817	3,000
執行率（％）		87.2%	93.3%	5.7%	57.9%	93.9%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	小・中学校数				単 位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		109	R7	目標	85	86	101	101
				実績	85	101	101	109
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	101	101	101	101	101	101
		実績	13	35	74			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	大会参加数を指標及び目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	参加生徒数(延べ)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,007	R7	目標	800	833	974	1,003
				実績	833	974	1,003	1,007
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		1,007	1,007	1,007	1,007	1,007	1,007	
実績		101	606	686				
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加生徒数を指標及び目標値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	生徒の部活動大会参加に係る交通費等を補助することにより、部活動の活性化、保護者負担を軽減する必要がある。区を代表して大会に参加する生徒のスポーツ・文化の実践の機会を保障し、教育費の保護者負担の軽減を図る観点から、区が交通費を負担することが妥当である。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	小・中学校創立周年記念誌の発行経費				27
目的	周年を機会に学校の歴史や伝統を記録し、先輩の足跡から児童が母校への認識を深め、新しい伝統を育む記録とすることにより、魅力ある学校環境をつくる。				主管課・係(担当)
					学務課・事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区立小・中学校創立周年記念校				
根拠法令 関連計画	学校基本法、学校教育法				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	学校の歴史や伝統を記録した周年記念誌の発行				
経過	開始年度	平成23年度		終了予定	未定
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		1,748	3,994	4,158	2,548	4,476	2,894
A.決算額(令和5年度は見込み)		1,586	3,884	4,158	2,548	4,430	2,894
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,586	3,884	4,158	2,548	4,430	2,894
執行率(%)		90.7%	97.2%	100.0%	100.0%	99.0%	100.0%
B.人コスト		2,953	2,621	2,647	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		4,539	6,505	6,805	5,187	6,884	
予算書P(令和5年度)	P239 10,P247 11	執行実績報告書P(令和4年度)			P177 11,P186 12		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	周年記念誌印刷	2,548	需用費	周年記念誌印刷	4,430	需用費	周年記念誌印刷	2,894

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	周年記念校				単位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		35	R7	目標	5	11	4	8
				実績	5	11	4	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	7	5	11	4	9	7
	実績	7	5	9				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	各小・中学校の創立時期により周年記念校が毎年異なるため、活動指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	周年記念誌発行率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R7	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	87.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	100
実績	100	100	81.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
魅力ある学校環境をつくるには、児童が母校への認識を深め、新しい伝統を育んでいくことが不可欠であるため、学校の歴史や伝統を記録する周年記念誌の発行率を成果指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	周年を機会に学校の歴史や伝統を記録し、児童が母校への認識を深め、新しい伝統を育むとともに、魅力ある学校づくりを推進するため必要な事業であるため、今後も周年に合わせて記念誌発行を行っていく。

課題・問題点

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	被服貸与事業(幼小中)				28
目的	区立小中学校及び幼稚園に勤務する学校管理員、栄養士等に対して、職務を遂行する上で必要となる被服を貸与する。				主管課・係(担当)
					庶務課庶務・教職員担当
					03-5608-6302
対象者	区立小中学校及び幼稚園に勤務する学校管理員、栄養士等				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	区立小中学校及び幼稚園に勤務する学校管理員、栄養士等に対して、職務を遂行する上で必要となる被服を貸与する。				
経過	開始年度				終了予定
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		1,148	1,098	1,736	1,063	1,175	1,114
A.決算額(令和5年度は見込み)		746	735	764	819	793	1,114
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		746	735	764	819	793	1,114
執行率(%)		65.0%	66.9%	44.0%	77.0%	67.5%	100.0%
B.人コスト			874	882	880	818	
総事業決算額(A+B)		746	1,609	1,646	1,699	1,611	
予算書P(令和5年度)	P238・P246・P252	執行実績報告書P(令和4年度)			P177・P185・P191		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	貸与被服購入	819	需用費	貸与被服購入	793	需用費	貸与被服購入	1,114

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	貸与品支給延べ人数 単位 品目				単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		177	37	目標	204	201	198	195
				実績	198	194	155	215
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	250	189	186	183	180	177
	実績	271	177	216				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	職務に必要な貸与被服等を計画的に支給する必要があるため活動指標とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標					単 位	
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
			目標					
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標								
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
貸与対象任数に対しての貸与品購入数(活動指数)の変化が成果指数となる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	毎年度、同額程度で推移する見込みである。

課題・問題点
特になし

施策	473	地域に開かれた魅力ある学校環境をつくる			部内優先順位
事業名	学校運営交付金(小・中)				29
目的	各学校の特色を強めることで魅力ある学校環境づくりを推進する。				主管課・係(担当)
					学務課事務担当
					03-5608-6303
対象者	墨田区立小・中学校				
根拠法令 関連計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人
事業内容	学校運営に要する経費を交付することにより、校長権限による特色ある学校づくりや魅力ある学校づくりの推進を図る。				
経過	開始年度	平成17年度		終了予定	
	事務事業の見直しに伴い、平成30年度から補助金制度を廃止し、各校の課題に応じた予算分配を行うこととした。令和5年度から学校管理費(運営費標準)予算に統合した。				
議会質問 の状況					
その他 特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		17,500	17,500	17,500	16,625	16,625	16,625
A.決算額(令和5年度は見込み)		16,618	16,142	16,862	15,423	15,423	16,625
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		16,618	16,142	16,862	15,423	15,423	16,625
執行率(%)		95.0%	92.2%	96.4%	92.8%	92.8%	100.0%
B.人コスト		2,953	2,621	2,647	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		19,571	18,763	19,509	18,062	17,877	
予算書P(令和5年度)	小P238 4、中P246 4	執行実績報告書P(令和4年度)			小P177 4、中P185 4		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	1,713	報償費	講師謝礼	2,305	報償費	講師謝礼	2,916
需用費	一般需用費	12,072	需用費	一般需用費	11,493	需用費	一般需用費	1,492
備品購入費	備品購入費	1,637	備品購入費	備品購入費	1,943	備品購入費	備品購入費	2,212

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区立小・中学校数				単位	校
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		35	R7	目標	35	35	35	35
				実績	35	35	35	35
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	35	35	35	35	35	35
		実績	35	35	35			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	対象となる区立小中学校の数を指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	児童・生徒数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		13,804	R7	目標	13,804	13,804	13,804	13,804
				実績	13,804	13,878	13,905	13,996
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	13,804	13,804	13,804	13,804	13,804	13,804
	実績	14,180	14,259	14,302				
指標の選定理由及び目標値の理由								
予算配当の基準とするため、基準年の5月1日現在の区立小中学校の児童・生徒数を指標及び目標値としたが、毎年児童・生徒数は変動する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区立学校の設置運営者として、学校運営上必要な経費を計上することにより、教育の機会均等及びその水準の維持向上を実現している。より一層の学校教育の水準維持と質の向上に向けて予算の充実を図り、計画的・効率的な執行に努めていく。

課題・問題点